

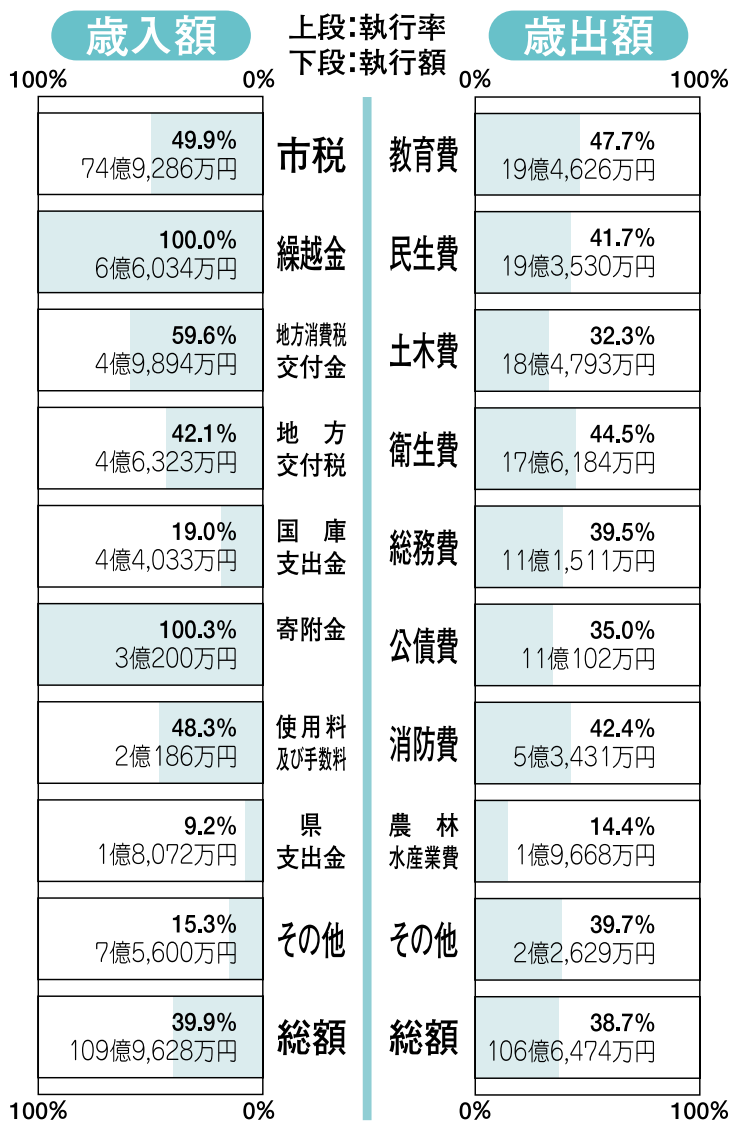
平成19年度予算上半期執行状況

「進めています」「健康な心と体と地域・社会づくり」

平成19年度の一般会計予算は、261億3,000万円です。スタートしました。その後の補正を経て、9月末現在で275億5,070万円の予算となっています。上半期の執行状況をお知らせします。

問 財政課財政係 44 3159

一般会計 予算額：275億5,070万円



一般会計

歳入で執行率の高いものは、寄附金3億200万円(100.3%)、

地方消費税交付金4億9,894万円(59.6%)、市税74億9,286万円(49.9%)、使用料及び手数料2億186万円(48.3%)などが挙げられます。

また、健全な財政運営に努めた結果、前年度からの繰越金が6億6,034万円ありました。

国や県からの支出金は事業総額が確定した後に交付されるものが多いため、執行率は低くなっています。

平成19年度予算 上半期執行状況

企業会計

病院事業

利用状況

入院：3万5,919人.....1日平均 196.3人

外来：7万3,961人.....1日平均 596.5人

区分	予算額	執行額	執行率
収益的収支			
事業収益	62億5,900万円	28億4,053万円	45.4%
事業費用	64億6,600万円	29億6,704万円	45.9%
資本的収支			
資本的収入	8,000万円	0円	0.0%
資本的支出	7億3,000万円	3億1,794万円	43.6%



袋井市民病院

水道事業

利用状況

給水戸数：3万895戸 給水人口：8万488人

総配水量：611万6,599m³

区分	予算額	執行額	執行率
収益的収支			
事業収益	14億3,400万円	7億2,979万円	50.9%
事業費用	14億3,400万円	4億1,978万円	29.3%
資本的収支			
資本的収入	1億5,600万円	3,647万円	23.4%
資本的支出	7億6,500万円	1億4,276万円	18.7%

金額はすべて税込みです。病院事業会計・水道事業会計とも、資本的収入に比べ資本的支出が上回っている額は、過年度分損益勘定留保資金などで補っています。

収益的収支の事業費用には、実際の現金支出を伴わない減価償却費なども含まれています。

特別会計

上段：歳入総額

下段：歳出総額

会計	予算額	執行額	執行率
国民健康保険	68億8,522万円	25億7,834万円 28億8,607万円	37.4% 41.9%
老人保健	55億8,604万円	23億4,830万円 22億5,827万円	42.0% 40.4%
介護保険	38億5,621万円	17億5,592万円 15億8,384万円	45.5% 41.1%
公共下水道	28億7,200万円	11億8,981万円 6億3,532万円	41.4% 22.1%
土地取得	3億7,000万円	1億3,655万円 1億3,182万円	36.9% 35.6%
簡易水道	1億6,090万円	5,564万円 2,934万円	34.6% 18.2%
駐車場	8,455万円	4,496万円 1,518万円	53.2% 17.9%
訪問看護	2,880万円	1,268万円 1,118万円	44.0% 38.8%
農業集落排水	2,020万円	1,481万円 750万円	73.3% 37.1%
合計	198億6,392万円	81億3,701万円 75億5,852万円	41.0% 38.1%

国民健康保険特別会計において、歳出総額が歳入総額を超えている分は、一般会計から一時繰替を行っています。



歳出

で執行率の高いものは、教育費19億4,626万円(47.7%)、衛生費17億6,184万円(44.5%)、消防費5億3,431万円(42.4%)、民生費19億3,530万円(41.7%)などが挙げられ、全体で38.7%の執行率となっています。

特別会計

特別会計は、国民健康保険や介護保険など特定の事業のために一般会計とは区別して使われる会計です。

国民健康保険、老人保健、介護保険などの会計の執行率はおおむね40%前後となっています。

そのほかの特別会計は、事業の進捗状況や国・県などからの支出金の受入状況などにより全体の執行率にばらつきがあります。

企業会計

企業会計は、公共の福祉を目的として企業を営む独立採算の会計です。

一般会計や特別会計と異なり、歳入や歳出の性質によって、収益的収支、資本的収支に分類して予算を編成、執行しています。

病院事業の資本的収入は、医療機器購入に伴う借入金(企業債)であり、年度末に収入するため、執行率が0%となっています。